



学校だより

伸びゆく子

令和 7 年 4 月 7 日
横浜市立中沢小学校
4 月 号

ひびきあい を大切に ~しなやかにたくましく生きる力を~

学校長 川又美貴子

4 月に入ってから気温の低い雨の日が続いたことも幸いし、早くから咲き誇っていた桜の花も、子どもたちが学校へ戻ってくるのを待っていていました。今年も、旭区で一番多い 115 名の新 1 年生を迎え、全校 686 名でスタートしました。私は、校長着任 5 年目となりました。今年度もよろしくお願いいたします。



さて、今年度中沢小は 55 周年となります。コロナ禍で迎えた令和 2 年度の 50 周年から早 5 年。今年の 6 年生が入学した 5 年前は、始業式、入学式で登校した後、5 月末まで 2 か月間の休校。6 月から登校再開したものの、半数ずつが登校する分散登校でした。その後も向かい合って給食を食べたり、グループ活動をしたり、大勢で集まったりすることが長らく制限され、令和 3 年度に着任した私が、全校児童が集まる姿を見たのは着任後半年以上たった秋になってからのことでした。

そんな状況下で小学校生活をスタートした今の 6 年生も今年いよいよ卒業を迎えます。変動の続く小学校生活をくぐり抜けてきた、たくましい 6 年生の子どもたちが、この 55 周年をどのようにお祝いしたいか、ぜひ中心になってアイデアを出してもらおうと考えています。自慢の中沢小学校の節目の誕生日を、子どもたちみんなでお祝いでできるのが今からとても楽しみです。

今年も、日々の学校生活を楽しみながら、たくさんのひと、もの、こととの出会いを大切に、自分一人では思いつかない、気づかない、できなかったかもしれないことを「ひびきあい」の中から感じ取り、一人ひとりが自分らしさを築いていってほしいと思います。

また、小学校はたくさん失敗して、たくさんぶつかることを通して、どうすればよかったのかを考え、自分で対処していく力を身につけていくところでもあります。うまくいかなかったこと、いやだったことなどのお話をご家庭で聞くことがあると思います。そんな時、そのつらさを受け止めてあげると共に、ぜひ、次はどうしたらいいかな、相手はどうしてそんな風に言ったのかな、相手に聞いてみたらどうかな、と励まし、背中を押していただければと思います。子どもたちが自分の足で、自分の人生をたくましくしなやかに生きていけるよう、教職員一同力を合わせて取り組んでいきます。今年度ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。